

# 意見発表者10(会場③埼玉県さいたま市)

## 意見の概要

わたしは東京都の多摩地域に住んでいる。多摩地域では水道水源の一部に地下水を使っている。多摩地域全体では約3割が地下水である。将来も水道水として飲み続けたいと思っているが、東京都は多摩の地下水を水道水源として算入していない。今回の検証でおかしいと思う点はたくさんあるが、中でも東京をはじめとするハッ端ダムに参画している都県が出した水需要予測をそのままにして非現実的な代替案を示し、その金額を比較していることは、とんでもないことだと思う。東京はまだ人口が増えているが、水需要は減っている。東京都が予測している1日最大配水量600万 $m^3$ は2003年に出した数字である。実際には、1992年には617万 $m^3$ だったが、1993年以降着実に減っている。2003年には506万 $m^3$ で、今では500万 $m^3$ を割り込んでいる。このような状況を踏まえ水需要予測を直せば、確実に少ない水需要になり、ハッ端ダムもかけた代替案も必要ない。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。